

貸切運賃料金適用方

I. 距離制運賃料金適用方

(適用する運送)

1. この運賃及び料金は、一般貨物自動車運送事業として車両を貸し切って貨物を運送する場合に適用します。

(特殊運賃との関係)

2. この運賃及び料金は、特殊な貨物の運送、特殊車両を使用する運送等であって、別途これらに関する運賃及び料金を届け出た場合には適用しません。

(運賃料金計算の基本)

3. (1) 運賃及び料金は使用車両1車1回の運送ごとに計算します。
(2) 車両が2両以上連結して運送される場合であって、荷主が同一であり、かつ、発地及び着地が同一のときは2両以上の車両を1車として計算します。ただし、荷主が異なるとき又は発地若しくは着地が異なるときは、それぞれの車両を1車として計算します。
(3) 継続かつ反復して行う貨物の運送の契約において、あらかじめ特定の車両を基準として運賃を算出した場合には、実際の使用車両にかかわらず、当該基準車両による運賃を適用することができます。

(運賃計算の方法)

4. (1) 運賃は使用車両の最大積載量及び運送距離によって、運賃率表に掲げてある金額（以下「基準運賃」といいます。）の上下それぞれ50%の範囲内で計算します。なお、運送距離が200kmまでの場合、10kmに満たない走行キロは10kmに切り上げて計算します。同様に、運送距離が200kmを超えて500kmまでの場合、20kmに満たない走行キロは20kmに、運送距離が500kmを超える場合、50kmに満たない走行キロは50kmに切り上げて計算します。
(2) 割増率又は割引率が適用される貨物は、基準運賃にそれぞれの率を乗じた金額を基準運賃に加減した上で、上下それぞれ50%の範囲内で計算します。
(3) その他必要事項がある場合は、別途協議により決定します。

(端数の処理)

5. 運賃又は料金を計算する場合において生じた端数は、1円未満を処理します。

(キロ程の計算)

6. 運送距離は、1車1回の運送ごとの実車キロ程によるものとし、経路が二途以上あるときは、その最短となる経路のキロ程により計算します。ただし、荷送人が経路を指定したときは、その指定した経路のキロ程によります。

(割増率及び割引率の重複する場合の計算)

7. 2 種以上の割増率又は割引率が重複する場合は、それぞれの率をあらかじめ加減した上で計算します。

(個建契約運賃)

8. 長期にわたって計画的かつ大量に出荷される次の(1)の各号に該当する貨物の運送契約(文書をもって運送契約を締結したものに限り、)をする場合には、運送区間ごとに(2)の式により算出した1個当りの運賃を適用することができます。ただし、1回の出荷量が基準車両の積載可能個数の70%以上ある場合に限り、

(1) ①単一品目であること

②荷姿が一定していること

③1個の重量又は容積が一定していること

④十分なリードタイムが確保されること

(2) [車種別のキロ程に応じた距離制運賃及びこれらの運賃に付随する料金]

÷ [(最大積載個数又は重量) × 基準積載率 (70%)]

(重量建契約運賃)

9. 1 回の配送について、基準運賃の距離制運賃における、該当する運賃に対して重量建ての運賃を算出し、実態に応じてその運賃の上下50%の範囲内で、運賃を計算することができる。また、個別の1配送に対して必要な場合は、荷主との別途協議にて運賃を算出します。

(容積建契約運賃)

10. 1 回の配送について、基準運賃の距離制運賃における、該当する運賃に対して容積建ての運賃を算出し、実態に応じてその運賃の上下50%の範囲内で、運賃を計算することができる。また、個別1配送に対して必要な場合には、荷主との別途協議にて運賃を算出します。

(速達割増等)

11. 次の(1)又は(2)に該当する貨物の運送契約をする場合には、基準運賃に運賃表に定める割増率を乗じた金額を加算します。

(1) 有料道路の利用、労働基準法、改善基準告示、道路交通法等の関係法令の遵守を前提として、通常想定される配達予定日時よりも早く配達を希望する場合は、基準運賃の50%以内を割増運賃として別途収受する。

(2) 有料道路の利用が認められない運送を希望する場合、有料道路を代替する一般道のキロ程に応じた運賃を基準運賃の50%以内を割増運賃として別途収受する。

(3) 通常の貨物車以外での配送(飛行機・鉄道等)を利用する場合は、別途都度協議とする。

(割引運賃)

12. 積み合わせを前提とし、積み合わせにかかる充分なリードタイムが確保される場合、基準運賃に運賃表に定める割引率を乗じた金額を減算することができる。

(特殊車両割増)

13. 冷凍・冷蔵車両を使用した場合は、基準運賃に運賃表に定める割増率を乗じた金額（その他の特殊車両を使用した場合は、別途定める割増率により算出した金額）を加算します。ただし、積載した貨物に別途定める品目別割増を適用した場合には適用しません。

(休日割増)

14. 日曜祝日及びそれにまたがる運送については、次の式により算出した金額を加算します。

日曜祝日に運送した運送距離に対応する基準運賃×0.2

(深夜・早朝割増)

15. 深夜・早朝割増の適用時間（午後10時から午前5時まで）に行われる運送については、次の式により算出した金額を加算します。

深夜・早朝割増適用時間に運送した運送距離に対応する基準運賃×0.2

(品目別割増)

16. 貨物が割増品目に該当する場合には、所定の割増率を適用します。1車の貨物に割増率を適用する貨物と適用しない貨物又は異なった割増率を適用する貨物が含まれている場合には、そのうちの最高の割増率を適用します。

(冬期割増)

17. 運送区間中に冬期割増適用地域に該当する部分がある場合には、次の式により算出した金額を加算します。

冬期割増区間の運送距離に対応する基準運賃×0.2

(往復貨物の割引)

18. 1個の契約で、同一の車両により通常の車両回送の範囲内において往復貨物の運送（それぞれ50km以上の運送に限ります。）を行う場合であって、次の（1）又は（2）に該当するときには、往路及び復路の基準運賃について、それぞれ50%以内の割引率を適用することができます。

（1）往路及び復路の貨物が同一荷主のものである場合

（2）往路の荷主が復路の貨物をあっせんし、その運賃料金の支払いについて連帯責任を負う場合

(待機時間料)

19. 車両が貨物の発地又は着地に到着後、荷主の責により発地又は着地において待機した時間（荷主による積込み・取卸しの時間を含みます）が各 30 分を超える部分については、所定の待機時間料を収受します。なお、1 回の運送において 2 箇所以上で待機が発生する場合は、それぞれの時間について合算するものとします。

また、待機時間料及び次項の積込料・取卸料が適用される時間の合計が 2 時間を超える部分については、割増しによる所定の待機時間料を収受します。

(積込料・取卸料)

- 20 積込み又は取卸しを引き受けた場合における積込料・取卸料については、所定の積込料・取卸料を収受します。但し、安全対策を施した積込み、取卸しなど、品目や業種などの特性上やむを得ない事情がある場合においては適用しないことがあります。また、積込料・取卸料及び前項の待機時間料が適用される時間の合計が 2 時間を超える部分については、割増しによる所定の積込料・取卸料を収受します。

(附帯業務料)

- 21 品代金の取立て、荷掛金の立替え、貨物の荷造り、仕分け、保管、検収・検品、横持ち及び縦持ち、棚入れ、ラベル貼り、はい作業その他の運送に附帯する業務に係る附帯業務料については、別に定めるところにより収受します。

(利用運送手数料)

- 22 他の貨物自動車運送事業者の行う運送を利用する場合は、当該運送事業者の手配までに要した回数について、所定の利用運送手数料を収受します。なお、特別な手配を要する利用運送を行う場合は、運送距離に対応する基準運賃×0.1 を上限とした手数料を収受します。

(燃料サーチャージ)

- 23 調達する燃料費が基準価格を超えるときは、所定の燃料サーチャージを収受します。

(消費税及び地方消費税の加算方法)

- 24 (1) 運賃及び料金の総額に消費税法等に基づく税率を乗じて計算します。
(2) 前号により計算した金額に 1 円未満の端数が生じた場合は、1 円単位に四捨五入します。

(有料道路利用料)

25. 有料道路利用を利用した区間の料金を運賃とは別に収受します。

(実費)

26. フェリー利用料、特殊車両通行関係費用、中継輸送に伴う施設使用料等その他実費として生じる費用については、当該実費として生じた額を収受します。

(計算の順序)

27. 運賃及び料金の計算は、次の順序により行います。

- ①使用車両及び運送距離による運賃の計算
- ②割増率及び割引率の適用の計算
- ③上下それぞれ 50% 幅の適用計算
- ④ 5 による運賃の端数処理
- ⑤諸料金（端数処理を含む。）の計算
- ⑥26 による加算の計算
- ⑦有料道路利用料、実費の計算

(中止手数料)

28. 荷主の責により、運送の中止が生じた場合（荷主が責任を負わない事由を除く）の中止手数料は、次に定めるとおり収受します。

- ①集貨予定日時の 3 日前までに運送の中止をしたとき 収受しません
- ②集貨予定日時の前々日に中止の指図をしたとき 運賃及び料金（20～22、24 及び 26～27 を除く。以下同じ）の 50% 以内
- ③集貨予定日時の前日に中止の指図をしたとき 運賃及び料金の 100% 以内
- ④集貨予定日時の当日に中止の指図をしたとき 運賃及び料金の 100% 以内

(その他)

29. この運賃及び料金の適用に関して、この適用方に定めのない事項については、法令に反しない範囲で、当事者間の取決め又は慣習によるものとします。

Ⅱ．時間制運賃料金適用方

（運賃料金計算の基本）

1. この運賃及び料金は、一般貨物自動車運送事業として車両を貸し切って貨物を運送する場合であって、荷主との契約で時間制運賃によることとした場合に適用します。
2. この運賃及び料金は、使用車両及び時間制の別（8時間制又は4時間制の別）ごとに計算します。

（走行キロ及び時間の計算）

3. 走行キロ及び作業時間の計算は、使用車両が荷主の指定した場所に到着したときからその作業が終了して車庫に帰着するまでについて行います。なお、10kmに満たない走行キロは10kmに、1時間に満たない作業時間は1時間に、それぞれ切り上げて計算します。

（従業員）

4. 運送に従事する従業員の数、1車につき1人とします。

（距離制運賃料金適用方の準用）

5. 距離制運賃料金適用方の1（適用する運送）、2（特殊運賃との関係）、4（運賃計算の方法）、5（端数の処理）、7（割増率及び割引率が重複する場合の計算）、8（個建契約運賃）、9（重量建契約運賃）、10（容積建契約運賃）、11から18まで（速達割増等、割引運賃、特殊車両割増、休日割増、深夜・早朝割増、品目別割増、冬期割増）、19から29まで（積込料・取卸料、附帯業務料、利用運送手数料、燃料サーチャージ、消費税及び地方消費税の加算方法、有料道路利用料、実費、計算の順序、注意手数料、その他）は、時間制運賃料金を適用する場合に準用します。この場合、8（個建契約運賃）における「車種別のキロ程に応じた距離制運賃」は「車種別の時間制運賃」と読み替えます。

○運賃割増率

1. 品目割増

項目	内訳	割増率
容 積 率	一箱：縦 300mm×横 300mm×高さ 300mm 重さ 10kg であることを基準として、それよりも明らかに大きな箱や軽い重量な品目	0～100％の間で適宜決定する。

2. 冬期割増

地域	期間	割増率
北海道	自 11 月 16 日	2 割
	至 4 月 15 日	
青森県・秋田県・山形県・新潟県・長野県・富山県・石川県・福井県・鳥取県・島根県の全県	自 12 月 1 日 至 3 月 31 日	2 割
岩手県のうち, 北上市・久慈市・遠野市・二戸市・九戸郡・二戸郡・上閉伊郡・下閉伊郡・岩手郡・和賀郡 福島県のうち, 会津若松市・喜多方市・南会津郡・耶麻郡・大沼郡・河沼郡 岐阜県のうち, 高山市・大野郡・下呂市・郡上市		

○I. 距離制運賃料金適用方 11. 特殊車両割増の別表

※告示に規定される車両以外の特殊車両に係る割増率は、下表のとおりとします。

特 殊 車 両	割増率
冷蔵冷凍車	2 割

○ I . 距離制運賃料金適用方 各種割増引き

速達割増	(1) 通常想定される配送予定日時よりも早く配送を希望した場合 (2) 有料道路の利用が認められない場合、有料道路を代替する一般道のキロ程に応じた運賃	基準運賃の 50%以内
	(3) 通常の貨物車以外（飛行機・電車等）の配送の場合	別途都度協議
休日割増	日曜・祝日及びそれにまたがる運送	基準運賃の 20%
深夜・早朝割増	深夜・早朝割増の適用時間（午後 10 時から午前 5 時まで）に行われる運送	基準運賃の 20%
品目別割増	貨物が割増品目に該当する場合は所定の割増率を適用する。1 車の貨物に割増率を適用する貨物と適用しない貨物又は異なった割増率を適用する貨物が含まれている場合はそのうち最高の割増率を適用する。	基準運賃の 50%以内

○ I . 距離制運賃料金適用方 待機時間

時間 \ 車種別	小型車 (2t クラス)	中型車 (4t クラス)	大型車 (10t クラス)	トレーラー (20t クラス)
30 分を超える場合において 30 分までごとに発生する金額	1, 680 円	1, 760 円	1, 890 円	2, 220 円
VIに定める積込料・取り卸し量の適用時間と併せて 2 時間を超える場合において 30 分までごとに発生する金額	2, 010 円	2, 110 円	2, 270 円	2, 670 円

○ I. 距離制運賃料金適用方 積込料・取卸料・附帯業務等

時間/内容 \ 車種別		小型車 (2t クラス)	中型車 (4t クラス)	大型車 (10t クラス)	トレーラー (20 t クラス)
30 分までごとに発生する金額	フォークリフト 又はユニックをした場合	2,080 円	2,180 円	2,340 円	2,750 円
	手積みの場合	2,000 円	2,100 円	2,260 円	2,650 円
V に定める待機時間料の適用時間と併せて2時間を超える場合、30 分まで頃に発生する金額	フォークリフト 又はユニックをした場合	2,490 円	2,610 円	2,810 円	3,300 円
	手積みの場合	2,400 円	2,520 円	2,710 円	3,180 円

以上

燃料サーチャージについて

1. 以下の算出方法による。

基準価格：100.0 円 スタンド価格による。

改訂する刻み幅：5.0 円

改定条件：改定の刻み幅 5.0 円/L の幅で軽油価格が変動した時点で、翌月から改定する。

廃止条件：軽油価格が 100.0 円/L を下回った時点で、翌月から廃止する。

計 算 式：(距離制運賃)

走行距離 (km) ÷ 燃費 (km/L) × 算出上の燃料価格上昇額 (円/L)

(時間制運賃)

平均走行距離 (km) ÷ 燃費 (km/L) × 算出上の燃料価格上昇額 (円/L)

2. 燃料サーチャージの改定条件と算出上の上昇額テーブルは下表のとおり。

調達している軽油価格	燃料サーチャージ 算出上の代表価格	上昇額
基準価格	100.00 円	—
～ 100.00 円	廃止	
100.00 超 ～ 105.00 円	102.50 円	2.5 円
105.00 超 ～ 110.00 円	107.50 円	7.5 円
110.00 超 ～ 115.00 円	112.50 円	12.5 円
115.00 超 ～ 120.00 円	117.50 円	17.5 円
120.00 超 ～ 125.00 円	122.50 円	22.5 円
125.00 超 ～ 130.00 円	127.50 円	27.5 円
130.00 超 ～ 135.00 円	132.50 円	32.5 円
135.00 超 ～ 140.00 円	137.50 円	37.5 円
140.00 超 ～ 145.00 円	142.50 円	42.5 円
145.00 超 ～ 150.00 円	147.50 円	47.5 円
150.00 超 ～ 155.00 円	152.50 円	52.5 円
155.00 超 ～ 160.00 円	157.50 円	57.5 円
160.00 超 ～ 165.00 円	162.50 円	62.5 円
165.00 超 ～ 170.00 円	167.50 円	67.5 円
170.00 超 ～ 175.00 円	172.50 円	72.5 円
175.00 超 ～ 180.00 円	177.50 円	77.5 円
180.00 超 ～ 185.00 円	182.50 円	82.5 円

※ 代表価格は、刻み幅の 0.5 倍の額を基準価格に加算した額とした。

※ 上昇額は、(代表価格－基準価格)とした。

3. サーチャージ額算出のための車両燃費は以下のとおり。

車種	燃費
小型車（2 t クラス）	5. 5km/L
中型車（4 t クラス）	3. 4km/L
大型車（10 t クラス）	2. 5km/L
トレーラー（20 t クラス）	- km/L

4. 時間制運賃を算出する上での条件（平均走行距離）は以下のとおり。

車種	8 時間制	4 時間制
小型車（2 t クラス）	100km	50km
中型車（4 t クラス）	130km	60km
大型車（10 t クラス）	130km	60km
トレーラー（20 t クラス）	130km	60km

5. 端数処理等

端数処理として、円単位に小数を切り上げる。